|  |
| --- |
| **学校経営推進費　事業計画書**  |
| **１．事業計画の概要** |
| **学校名** | 大阪府立北かわち皐が丘高等学校 |
| **取り組む課題** | 授業改善への支援（生徒の学力の充実） |
| **評価指標** | ①授業アンケートにおける生徒の授業満足度（強い肯定）の向上②補習・講習への参加、家庭学習、資格取得などの生徒の学習意欲の向上③外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上④希望進路実現率の向上　・難関・中堅私立大学への進学者数の増加　・就職試験（１次）の合格率向上 |
| **計画名** | さつき「授業力向上」プロジェクト　～進路実現のための素養（考える力、学ぶ意欲）を育む～ |
| **２．事業計画の具体的内容** |
| **学校経営計画の****中期的目標** | １　学力向上と進路実現（１）教科指導を充実させ、生徒の学力を向上させる。　　ア 学習に向かう意識を向上させるとともに、授業見学、校内研修、授業アンケート等により継続的な授業改善を図り、生徒の学力向上に結びつける。　　イ 「魅力的な授業・わかる授業」を確実なものとし、さらに一歩進んで「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。（２）自学自習する力を育む。　　ア　 家庭学習や補習・講習等の授業外学習に取り組む力を育成する。　　イ　 読書活動を推進するとともに、様々な資格取得の機会を提供し、前向きに取り組む意欲を向上させる。 |
| **事業目標** | 　ICT機器を随時使用できる環境を普通教室に整備し、すべての教員がそれを活用することにより、生徒同士が対話を通じて自身の考えをまとめ、発表・共有する等、生徒の主体的な活動を取り入れた「魅力的な授業・わかる授業」を実施する。　「授業力向上委員会」を組織し、ICT機器を活用した研究授業や、教材開発・指導法の研究等、学校全体で「授業改善」を図ることにより、学校全体の授業の質を高め、より「主体的・対話的で深い学び」を実現する。また、授業改善による質の高い授業を提供することで、生徒の授業満足度や学習意欲の向上を図る。　また、大学の出前講座や体験授業への参加、他の府立高校の課題研究発表会等への参加を促進し、卒業後の進路で必要な素養を身につけさせる。また、資格試験等への取組みを推進し、資格取得による達成感や、次に繋がる学習意欲の醸成を図る。これらの取組みを通じて生徒たちが希望する進路の実現をめざす。 |
| **取組みの概要** | **整備する****設備・物品** | 超短焦点プロジェクター　　　　12台（ＨＲ教室）壁設置型ロールスクリーン　　　20台電源及び接続用ケーブル　　　　20教室分 |
| **取組内容** | **前年度** | （H29～R１）「授業改善」を最重要課題として位置付け、校長､教頭､首席､指導教諭等で将来構想委員会を組織し、「生徒の主体的な活動」をテーマとして、授業力向上に向けた取組みを実施した。　①ICT機器の整備・拡充（プロジェクタ等の状況調査・購入・効果的な配備）→ 約70％の教員が、ICT機器を使用して授業を行った経験がある。　②校内研究授業及び研究協議の実施（国、社、数、理、体、英）→ 授業を行う際の基本事項の確認、生徒を主体的な活動に導く工夫の共有、ICT機器の効果的活用法の共有 |
| **初年度** | （１学期） 全体研修「主体的・対話的で深い学びへの取組み１」及びモデル授業による教員の意思統一 各教科での授業内容の検討、教育実習期間を活用した授業見学、授業実践（夏期休暇） 授業アンケート結果の分析、１学期の評価、２学期に向けての検討、普通教室のICT環境整備（２学期） 教員一人ひとりの授業実践・相互授業見学 授業力向上委員会が中心となって校内研究授業・研究協議の実施（３学期） 授業アンケート結果など成果の検証、今年度の評価、次年度の計画策定 |
| **２年め** | （１学期） 各教科での授業内容の検討、教育実習期間を活用した授業見学、授業実践 全体研修「主体的・対話的で深い学びへの取組み２」による学校全体の情報共有（夏期休暇） 授業アンケート結果の分析、１学期の評価、２学期に向けての検討（２学期） 教科としての授業実践・相互授業見学 授業力向上委員会が中心となって校内研究授業・研究協議の実施　　　　　　（３学期） 授業アンケート結果など成果の検証、今年度の評価、次年度の計画策定 |
| **３年め** | （１学期） 各教科での授業内容の検討、教育実習期間を活用した授業見学、授業実践 全体研修「主体的・対話的で深い学びへの取組み３」による学校全体の情報共有（夏期休暇） 授業アンケート結果の分析、１学期の評価、２学期に向けての検討（２学期） 学校全体・全教員による授業実践・相互授業見学 授業力向上委員会が中心となって校内研究授業・研究協議の実施（３学期） 授業アンケート結果など成果の検証、３年間の取組みの評価、次の３年間の取組み検討 |
| **取組みの****主担・実施者** | 主担　： 校長、教頭 授業力向上委員会（指導教諭、校長任命の教諭） 校内ICT環境整備PT（情報主担、首席、教務部ICT担当、校長任命の教諭）実施者：全教職員 |
| **成果の検証方法****と評価指標** | **初年度** | ① 授業アンケートにおける生徒の授業満足度（強い肯定） 52％（R１　49%　Ｈ30　48％、Ｈ29　50％） ② 生徒の学習意欲（家庭学習１時間以上の生徒） 50％（R１　30％ Ｈ30　41％、Ｈ29　27％）　③ 学力診断テストにおける学力評価（２年次のＣゾーン以上の割合） 45％（R１　37%　Ｈ30　39％、Ｈ29　29％）④ 難関・中堅私立大学への進学者数  20名（R１　12名 Ｈ30　17名、Ｈ29　13名） |
| **２年め** | ① 授業アンケートにおける生徒の授業満足度（強い肯定） 55％② 生徒の学習意欲（家庭学習１時間以上の生徒） 60％③ 学力診断テストにおける学力評価（２年次のＣゾーン以上の割合） 50％④ 難関・中堅私立大学への進学者数 27名 |
| **３年め** | ① 授業アンケートにおける生徒の授業満足度（強い肯定） 60％② 生徒の学習意欲（家庭学習１時間以上の生徒） 65％③ 学力診断テストにおける学力評価（２年次のＣゾーン以上の割合） 55％④ 難関・中堅私立大学への進学者数 35名 |